

FROM LIFE

第2回 北村西望生誕地現代彫刻プロジェクト
a contemporary sculpture project in seibo kitamura's birthplace

FROM LIFE



△作品製作風景 (JA旧米倉庫)

■お問い合わせ
南有馬総合支所内「南有馬現代芸術プロジェクト実行委員会」
〒859-2412 南島原市南有馬町乙1023
☎050(3381)5170 (担当:総務・管)
FAX 0957(85)3142 (代表)
✉ info@minamirima-ap.jp

■「FROM LIFE(フロムライフ)」開催概要
・催事名:第2回北村西望生誕地現代彫刻プロジェクト

ホームページのお知らせ

「FROM LIFE(フロムライフ)」では、ホームページを開設しています。第1回開催の様子や、今回の参加作家の紹介、会期中及び前後の予定表、ワークショップ、スライドショー、公開搬入など関連イベント情報、そして「FROM LIFE(フロムライフ)」の進行状況がわかるウェブログなどが閲覧できます。是非一度ご覧になってください。
[ホームページ] <http://minamirima-ap.jp/>

■「FROM LIFE(フロムライフ)」後援
・会期:平成18年11月3日
[金祝]〜11月30日[木]
・会場
南島原市南有馬町内エリア
・開場:10時〜16時
会期中無休・入場無料
・主催:南有馬現代芸術プロジェクト実行委員会(原城観光協会内)
・共催
原城観光協会、南島原市



△ワークショップでの子どもたち

■ボランティアスタッフ募集のお知らせ
現代彫刻プロジェクト「FROM LIFE(フロムライフ)」のお手伝いをしていただけ方を募集いたします。展示会の会場設営、作品制作・設置など作家さんのお手伝い、展覧会会期中の受付、子どもたちを対象にしたワークショップのお手伝いなどに参加してみませんか? 第1回目に手伝っていただいた方から、現代彫刻って何だろう、という方まで大歓迎です。興味をもたれた方は、左記までお気軽にお問い合わせください。

海外青年協力隊を募集します

独立行政法人国際協力機構では、技術や経験を生かして発展途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外ボランティアを募集します。

- 応募期間…10月1日(日)〜11月10日(金)
- 応募資格…満20歳〜満39歳(募集締め切り日)までの日本国籍を有する人。
- 派遣期間…原則2年間(単身赴任)
- 募集人員…約1,400名
- 募集分野…①農林水産②加工③保守操作④土木建築⑤保健衛生⑥教育文化⑦スポーツの7部門、約120職種

- 派遣先…アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の約70カ国
- 現職参加…現在、官公庁や企業・団体(自営を含む)に勤務している人は、所属先に身分を残したまま参加可能な場合があります。

●『体験談&説明会(出島交流館)』
【長崎】10月13日(金)午後6時30分〜午後8時45分
11月3日(金)午後2時30分〜午後4時45分
※ほかに、シニア海外ボランティア(満40歳〜69歳)も募集しています。

●お問い合わせ
独立行政法人 国際協力機構 九州国際センター 業務第1チーム
ボランティア班
☎093(671)8349 FAX 093(663)1350
✉ jicakicp-jpcvqc@jica.go.jp



布津 すごいぞ、日本一!

ミニバスケットボール (サマーキャンプ:奈良)



▲優勝報告に訪れ、市長との記念写真

8月10日(木)から12日(土)までの3日間、奈良市バスケットボール協会主催による、『サマーキャンプ2006 in 奈良』ミニバスケットボール大会が開催され、出場した布津小学校チームが見事優勝の栄冠を手に入れました。

平成4年から毎年開催されているこの大会は、子どもたちの競技力向上を図り、指導者の交流と資質の向上を目指し、毎年全国の強豪チームを招待しています。今年で15回目となった今回は、40チームが参加し熱戦を繰りひろげました。布津小学校チームは今回初出場だったにもかかわらず、堂々としたプレーでひとつひとつ勝利をつかみとりました。宮崎託也コーチは、『まさか優勝できるとは思っていませんでした。子どもたちのひたむきな姿勢が結果につながったものと思います』とうれしそうに話されていました。後日、市長への優勝報告として訪れた子どもたちは『中学校でもバスケットを続け、将来はプロの選手になる!』と元気に話していました。テレビ画面で応援する日が楽しみです。

市全体 明日の農業をささえる力

南島原市青年農業者 連絡協議会結成



▲新役員のみなさん

これまで各町で活動を行っていた南島原市内の青年農業者で組織する団体(4Hクラブなど)が、合併によるさらなる活動の充実と拡大を図り、9月5日(火)南島原市青年農業者連絡協議会設立総代会を開き、市内126名の会員組織として新たにスタートしました。

この会は南島原市内の青年農業者で組織する団体が、相互に情報や技術の交換を行い、親睦を深めるとともに、活動を促進させ、地域農村社会の発展に寄与することを目的として設立されました。総会では、初代会長として選出された小川光洋(西有家町見岳)さんが「私たちの活動を、地域のみならず、南島原市の枠も超えて全国的に発信していきたい」と決意を述べました。

その後の市長との懇談会では、市に対する具体的な支援など、担当部局も交えての質問や提言がなされました。それをうけた松島市長は、会員皆さんの若い力に大きな期待感を示し、市政への理解と協力を求めました。



▲市長との懇談会のようす

有家西有家 防災の日(9月1日)訓練



▲海上自衛隊による防災訓練

9月1日(金)防災の日、みそ五郎公園において西有家地区消防団夏季訓練が開催され、消防団員約200名が参加し、礼式訓練や分列行進訓練、また実践を想定したポンプ操法や連結訓練を行いました。この訓練は団員一人一人の資質の向上と、団員間の連携を高めるため、毎年防災の日には実施されています。また、この日はマリパークありえの海岸地区において、海上自衛隊第22航空群による防災訓練が行われ、ヘリコプターによる救助訓練が披露されました。間近で行われた訓練とあってヘリコプターの風と音の迫力に圧倒されながら、観客は真剣に見守っていました。